

食育シンポジウム 上原さんが食育の実践を報告

「望ましい基本的生活習慣を身につけた幼児・児童生徒の育成を目指して～楽しい食事は家庭の食卓から～」をテーマにした食育シンポジウム（県教育委員会、県学校給食会など主催）が11月17日、南風原中央公民館で開催されました。医師、保育士、PTA代表がそれぞれの取り組みを紹介し、子どもの成長課程において食の重要性について理解を深めました。八重瀬町からは具志頭中学校PTAの上原純子さんが教育委員会や学校関係者、栄養士が参加して行われた食育の取り組みを紹介しました。

具志頭特産のピーマンのキャラクター「ハッピーマン」を考案し、地域を挙げて地産地消に取り組んでいる実践を報告しました。「せっかく学校で教えてもらっている食育も母親が作る料理に生かさなければ効果をあげることが難しい」と食育の重要性を訴えました。



八重瀬町シルバー人材センター 1月1日から業務開始

高齢者の方が臨時的・短期的に仕事をすることで健康維持や張りのある生活を送れることを目的とした八重瀬町シルバー人材センターが今年から設置されるにあたって設立総会が去った11月20日八重瀬町役場で執り行われました。設立準備室長の本村繁さんは、「設立準備を行ってから多くの問題乗り越え今日の日を迎えられたことが非常にうれしい。現在すでに33名の会員がいるので早めにとスタートし、みなさんの思いをひとつにがんばっていきたい」とあいさつしました。当シルバー人材センターでは、1月1日をもって業務を開始し、皆さんの会員の参加を呼びかけます。



玻名城の郷ビーチ クリーンアップ

NPO法人沖縄OCEANと玻名城区民、役場関係者約170名が11月17日に玻名城の郷ビーチで清掃活動を行いました。ボランティアで参加した清掃活動には家族や友人で参加する人が多く見られ、2時間あまりかけてビーチいっぱいのゴミを収集しました。清掃終了後は、参加者の親睦を図るためバーベキューも行われました。



第2回八重瀬町長杯ゲートボール大会 後原1組チーム優勝

平成19年12月8日（土）、東風平運動公園多目的広場で第2回八重瀬町長杯ゲートボール大会が開催されました。全36チーム213名が参加し、試合が行われました。結果、後原1組チームが優勝しました。



字具志頭区民で パークゴルフ大会を 開催しました

字具志頭の子ども会、青年会、老人会などが参加した「区民パークゴルフ大会」が11月25日、具志頭運動公園内で開催され85名の区民の参加がありました。区民相互の交流と意識の高揚、親睦を目的としたパークゴルフ大会で、参加者たちは、陽気な雰囲気でもパークゴルフを楽しんでいました。3年近くパークゴルフを続けている内村宏義さんは「ボールがグリーンとホールに入る瞬間が気持ちよくて続いています。また、仲間と親睦を図りながらやるのも楽しいです」と笑顔で話しました。



沖縄県青少年育成大会で町内から1団体と2名が受賞

「育てジブンナー～21世紀の子どもたちを育てるために～」をテーマにした第28回沖縄県青少年育成大会が、11月21日沖縄県庁舎で開かれました。青少年が目標をもって自主自立の精神を確立するとともに、育成者の激励や支援のあり方について考える機会とすることを趣旨に開催しています。

その中で、町内から世名城ジャイアンツが地域の子どもたちの模範となり、他の関係団体からも高く評価されていることを受けて、善行青少年・青少年育成功労者として表彰を受けました。また、同賞に成人個人の部からは、字世名城の古波津宏さんと字高良の山城都暉さんの二人が受賞しました。永年にわたって世名城ジャイアンツを指導してきた古波津さんは、野球を通し青少年の健全育成や家庭教育支援などに幅広く活動し貢献したことを受けての受賞でした。また、山城さんは、糸満警察署少年補導員として委嘱を受けて依頼、10年余にわたり少年問題に関する各種会合にも積極的に参加するなど地域における青少年の健全育成に貢献し、学校PTA、教育関係者からの高い評価を受け、地域住民からの信望も厚い人柄です。



港川人の想像画を描き 町内から 3名が最優秀賞を受賞

沖縄県立博物館・美術館が12月1日、県内の小、中、高校生を対象に描いてもらった「私が考える港川人」作品の表彰式を行いました。生徒たちは約1万8千年前の人骨化石として旧具志頭村で発見された港川人がどのようにくらししているのか思い思いの想像画を描きました。最終選考に残った60点のうち5点が最優秀賞に選ばれる中、八重瀬町からは、金城直行（具志頭小4年）親泊将央（新城小6年）金城しおり（具志頭中1年）の3名が最優秀賞を受賞しました。



受賞を受けた親泊将央君